



今号の内容

- 令和8年度から新たに取り組む研究課題の紹介
- 人事異動



食料確保・生産力向上プロジェクト(R8～R12)

○中山間地域における自給率向上に向けた水稻生産システムの開発

① 飛騨地域における直播栽培技術体系の確立【本所/小島 和樹】

育苗管理の負担や移植スケジュールの制約により担い手の面積拡大は限界を迎えつつあります。このため、育苗が不要で作期分散が可能な直播技術が注目されています。しかし、飛騨地域に適した栽培条件は不明です。

そこで、播種様式等を検討し、飛騨地域に適した直播栽培体系を確立します。また、作業分散や収穫を効率よく行うために、直播栽培用の生育予測システムを構築します。



【課題】

生産面積拡大
→育苗負担・移植スケジュールの制約

↓

直播栽培(育苗不要・作業分散可能)
→飛騨地域に適した栽培条件が不明



【研究内容】

- 栽培条件 飛騨地域に適したコーティング資材、播種時期等の検討
- 生育予測 栽培データ・気象データを収集し、生育予測システムを構築

② 「酔むすび」収量向上技術の確立【支所/小川 岳斗】

支所で育成した酒造好適米新品種「酔むすび」は、コシヒカリとの作業分散のため晩植(6月上旬)されていますが、収量が安定しないことが課題です。

そこで、晩植作型で安定した収量と品質を確保できる栽培技術の開発を行います。また、適期作業による品質向上に向けて、気象データ等から「酔むすび」の出穂期、成熟期を予測するシステムの開発を行います。



【課題】

- ・コシヒカリとの作業分散→晩植の収量は15%減
- ・栽培経験が少なく、作業計画が立てにくい



【研究内容】

- 収量向上技術の確立 施肥、水管理、栽培密度の検討
 - 生育予測システムの開発 生育期、収量、品質、気象データ等から、出穂期、成熟期を予測するシステムを開発
- 最適な条件を解明 収量480kg/10a、全量1等以上 →出穂期、成熟期を予測 計画的な作業が可能に

生産者の収益向上
作業分散で主食用米と酒米の自給率向上が両立可能に

○くり栽培の省力化、多収生産を可能とする技術の開発

【支所/水野 文敬】

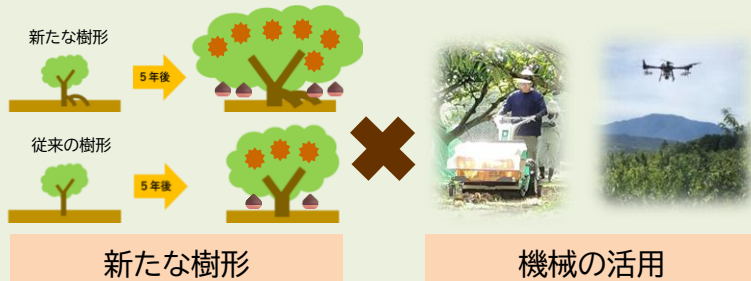
支所で研究中の新しい樹形(3本ジョイント樹形)は、幼木から若木での増収効果が確認されています。また、支所で開発したドローン防除や機械を利用した収穫により、作業時間の短縮が可能となりました。

そこで、これらの技術を組み合わせ、管理が楽な早期成園化技術の開発を目指します。



【研究内容】

- 育苗方法や幼木管理
- 効率的な機械管理
- 栽植適地の把握



省力的な
早期成園化

新改植による
産地の若返り

重点研究(R8~R10)

○夏秋トマトの育苗管理及び定植作業の省力化技術の開発

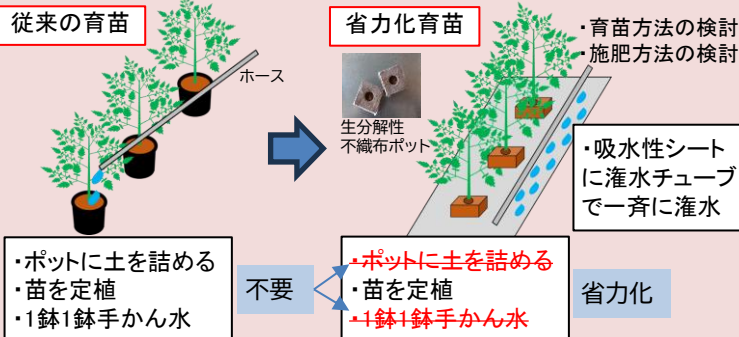
【本所/矢島 隼人】
【支所/大西 竣介】



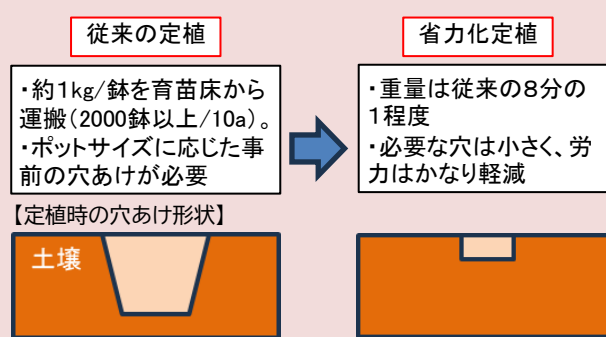
夏秋トマトの育苗は主に黒ポリポットで行われており、手作業によって1ポットずつ灌水しているため非常に多くの労力を要しています。また、定植前の穴あけ作業や定植時のポット回収作業にも時間を費やしています。そこで、生分解性不織布ポットと自動灌水を組み合わせることで灌水作業を自動化することにより、育苗管理の大幅な省力化を図るとともに、定植方法も改善し、育苗から定植まで一連の作業の省力化を図ります。

【研究内容】

①省力育苗技術の開発



②省力定植技術の開発



地域密着型研究(R8~R10)

○夏ハウレンソウ栽培に対応した土壌還元消毒技術の確立

【支所/大島 崇嗣】



ハウレンソウは年間の栽培回転数が重視される作物であるため、処理期間が約1か月に及ぶ土壌還元消毒はあまり普及しておらず、クロルピクリン燻蒸剤による土壌消毒が主流となっています。

そこで、ハウレンソウ栽培でも土壌還元消毒を活用できるよう、処理期間を短縮できる方法について検討するとともに、休作中のハウスで実施した場合の効果の持続期間などを明らかにします。

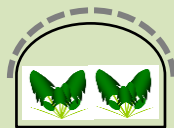
【研究内容】

【土壌還元消毒技術の確立】

- 還元促進資材「かんげんきん」を使用した、還元期間短縮効果の検証
- 還元消毒後を休作としたハウスにおける、翌年の土壌病害抑制効果(1~4作目)の検証

【研究の達成目標・ねらい】

- ・土壌消毒回数の低減を図るとともに、経営形態に応じた土壌消毒の選択技の拡大
- ・休作ハウスがある場合の、土壌還元消毒を導入した効率的な作付計画の提案など



●新体制で研究業務に臨んでいます！（人事異動:令和8年4月1日付け）

以下のとおり異動がありました。本年度もよろしくお願いいたします。

転入者	旧所属	転出者	新所属
本所 所長 渡辺 秀樹	農政課	本所 所長 神尾 真司	農業技術センター
本所 課長補佐兼管理調整係長 中川 守	木工芸術スクール	本所 作物・果樹部長 久田 浩志	下呂農林事務所
本所 施設園芸部長 福田 富幸	農業技術センター	本所 管理調整係長 清水 三智夫	飛騨神岡高等学校
本所 研究員 大島 崇嗣	農産物流通課	本所 主任専門研究員 安江 隆浩	飛騨農林事務所
本所 研究員 高橋 阿彌	下呂農林事務所	本所 研究員 山腰 美帆	農政課
支所 支所長 磯村 秀昭	恵那農林事務所	支所 支所長 熊澤 良介	恵那農林事務所
支所 研究員 勝見 樹	飛騨農林事務所	支所 主任研究員 メルトン 里奈	中濃農林事務所
支所 研究員 小川 岳斗	農産園芸課	支所 研究員 工藤 溪汰	農産園芸課

岐阜県
中山間農業研究所

本 所 〒509-4244 岐阜県飛騨市古川町是重二丁目6番56号
TEL: 0577-73-2029 FAX: 0577-73-2751
中津川支所 〒508-0203 岐阜県中津川市福岡1821-175
TEL: 0573-72-2711 FAX: 0573-72-3910

研究所ホームページ <https://www.k-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>

